学科·学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	5月~9月		
授業科目	生理解剖学		担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	必修		
授業概要	身体の最小	、単位である細胞の持つ	つ様々な構造	告と働き、および細胞、	組織、器官、固体それ	1ぞれのは		
(目的)	たらき(機能	定)に応じたつくり(構造 その上で美容施術を行)が対応して	いることを理解する。丿	、体のしくみ、構造と値	動きの基本		
到達目標		ツク技術を行う上で必要 骨格、筋肉、臓器の場所				明ができる		
授業計画	総授業	時間数 30 時間	授業回数	14 回 1回授業	45分	授業時間数		
	1	レッスン2骨格系・筋系	1体区	分		2		
	2	レッスン2骨格系・筋系 2. 骨格&筋肉系(1)†		骨の構造、③関節、④権		2		
	3	レッスン2骨格系・筋系 (2)筋肉 ②筋肉の種		筋 ④骨格筋の構成(多速筋と遅筋	2		
	4	4 レッスン8 消化器系 1.消化作用						
	5	5 レッスン1 身体の基本 1. 身体の構成2.身体の設計図 3.身体を構成する物質 必要な物質						
	6	6 レッスン1 身体の基本 4.血液 物質運搬 (1)血液 (2)赤血球 (3)白血球						
	7	レッスン5 内分泌系	1.内分泌系	の役目 2.各内分泌とな	ホルモンの種類	2		
	8	レッスン9 泌尿器系 1	.腎臓との働	かき 前期 テスト		2		
	9	レッスン3 神経系 1.神経細胞 2.神経系 3.中枢神経系 脳の構 (3)間脳 視床、視床	造と機能グ			2		
	10	レッスン3 神経系 4.末梢神経 脊髄神経 (2)自律神経のはたら				2		
	11	レッスン10 生殖器系 レッスン7 循環器系 1				3		
	12	3心臓の興奮伝達経				2		
	13	レッスン6 呼吸器系	1.呼吸器系	のあらましと構造4. リン	パ系	3		
	14	生理解剖学テスト				2		
	合計時間数					30		
教科書	一般社団沒	去人 日本エステティック	か協会 新エ	ステティック学 理論編	i I			
時間外 学習	自宅学習月	月の宿題プリントにて、愉	骨・筋肉の名	称を確実に覚える				
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	(実務家 2. 教員 備 考 l							
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	<u>e.jp/</u>					

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	4月~2月		
授業科目	皮膚科学		担当者	大城 絵見理	科目必修区分	必修		
授業概要	皮膚の役割	削や機能などの基礎知	識とスキンク	アについての理解を浴	深める			
(目的)								
到達目標	エステティ	ック技術を行う上で必要	要となる皮膚	の構造と働きを理解し	、肌トラブルに応じた	アドバイス		
						1		
授業計画	総授業		授業回数			授業時間数		
	1			役割 2.皮膚の構造と	動き(3)構造	2		
	2	皮膚の構造・表皮のタ	'ーンオーバ	<u></u>		2		
	3	表皮4つの層の働き・	表皮の付属	器官		2		
	4 汗腺の種類・真皮の働き、構造・皮下組織の構造							
	5	皮膚の構造(確認テス	ト)・皮膚膜、	各質層バリア		2		
	を 表皮のタンオーバー・メラノサイトの働き・毛細血管の働き							
	7	線維芽細胞の働き・色	素沈着・シ	ミの種類・UV		2		
	8	皮膚学前期テスト 肌	の美しさを推	員ねる要因		2		
	9	女性ホルモンと肌への	影響			2		
	10	さまざまな肌の状態	美しい肌のタ	条件肌・タイプ		2		
	11	衰えた肌・色素沈着				2		
	12	ニキビの状態・できる弱	要因			2		
	13	肌荒れと敏感肌				2		
	14	肌分析				2		
	15	皮膚学後期テスト				2		
	合計時間数					30		
教科書	一般社団沒	去人 日本エステティッ	ク協会 新コ	エステティック学 理論網	編 I	•		
時間外	自宅学習月	用の宿題プリントにて、	皮膚構造の	名称を確実に覚える				
学習								
上往初一 上江	出席率(5ポ	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)						
成績評価 方法	学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	美務家 2. 教員 備 考							
実務経	験紹介	https://www.bmode.a	c.jp/					

			シラバ	バス					
令和 7	年度		学校名:	専修学校 ビューティ	ーモードカレッジ				
学科•学年	トータルビ	ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	6月~7月			
授業科目	栄養学		担当者	大城 絵見理	科目必修区分	必修			
授業概要 (目的)		ック施術後の良い状態 いて理解を深める	を保つための	のアドバイスに応用でる	きるよう、食物の栄養	素と健康の			
到達目標	美しい肌、	ボディラインづくりに必	要とされる栄	養の知識を修得し、万	アドバイスができる				
授業計画	総授業	· 時間数 24 時間	授業回数	9回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	Lesson1-1. 栄養素の	種類 2.55	大栄養素(1)蛋白質		2			
	2	(2) 脂質 (3)炭水化物	勿 (4)無機	質と水		2			
	3	(5)ビタミン 3. 栄養係	西(1)エネル	ギー価 4. 栄養所要	量(1)基礎代謝	2			
	4	5. 食物摂取とその消 6. 栄養学から見た食		1. (1)栄養歴		3			
	5	2-2. 肥満(2)BMI値(5)肥満の原	因3.(2)生活習慣病 4	1. 美容と栄養	3			
	6	Lesson2健康と栄養Lesson3サプリメント Lesson4. 食品添加物、チェックテスト							
	合計時間数					15			
教科書	一般社団活	去人 日本エステティッ	ク協会 新コ	ニステティック学 理論	編Ⅱ				
時間外 学習	自宅学習月	用の宿題プリントにて、	5大栄養素や	でその役割を覚える					
	出席率(5ポ				5ポイント)、評価テスト(80ポイント)			
成績評価 方法	学校基準は	こより4段階評価とする							
担当詳細		孫家 2. 教員	備考						
実務経		https://www.bmode.a							

			シラバ	<u></u> ヾス				
令和 7	年度		学校名:		゛ューティー	ーモードカレッジ		
学科•学年	トータルビ	ューティー科 1年	授業方法	講義	蔎	講義時期	6月	
授業科目	化粧品学		担当者	島袋	優	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的) 到達目標	や目的と機	論(化粧品の法律上の 後能、使用される主な原 果で必要となる代表成分	料について	理解を深め、	化粧品に	ついての基礎知識を	を修得する	
为是自你	の提案、自	身の肌管理へ活かして	ていく					
授業計画	総授業		授業回数	5回	1回授業	45分	授業時間数	
	1	【レッスン1】 ①化粧品・医薬部外品 ②化粧品の分類 ③化粧品の品質と品質 ④化粧品の取り扱い_	質と品質保証	ĪĒ			2	
	【レッスン2】 ①フェイシャル化粧品の目的と働き ②洗顔化粧品 ③整肌化粧品 ④賦化粧品 2 【レッスン3】 ①ボディ化粧品の目的と働き ②洗浄料③シェイプアップ料④サンケア料制汗・防臭料 ⑥浴用料⑦除毛料						2	
	【レッスン2】 ①フェイシャル化粧品の目的と働き ②洗顔化粧品 ③整肌化粧品 ④賦活化粧品 【レッスン3】 ①ボディ化粧品の目的と働き ②洗浄料 ③シェイプアップ料 ④サンケア料 ⑤制汗・防臭料 ⑥浴用料 ⑦除毛料					3		
	【レッスン4】 ①メイクアップ 化粧品の目的と働き 4 ベースメイクアップ、ポイントメイクアップ						2	
	5	【レッス9】化粧品に用いられる薬剤とその働き ①紫外線カット剤 ②酸化防止剤 ③防腐防カビ剤 ④美白剤 【レッスン8】化粧品の原料 ①水性原料・油性原料 ②界面活性剤、高分子、着色剤、香料						
	6	【レッス9】化粧品に用いられる薬剤とその働き ①紫外線カット剤 ②酸化防止剤 ③防腐防カビ剤 ④美白剤 【レッスン8】化粧品の原料 ①水性原料・油性原料 ②界面活性剤、高分子、着色剤、香料						
	7	総合まとめ筆記テスト					2	
	合計時間数						15	
教科書	一般社団治	去人 日本エステティック	か協会 新工	ステティック学	生 理論編	Ⅱ 日本化粧品検定2	2級テキスト	
時間外 学習	化粧品成分	分の理解を深めるよう、	身の回りにな	ある化粧品の	成分を見て	て復習をする		
	 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(30ポイント)	
成績評価 方法								
担当詳細	1. 実務家 2. 教員 備 考							
実務経	 験紹介	https://www.bmode.a	c.jp/					

学科•学年	トータルビュ	ューティー科・1年	授業方法	 実習	講義時期	4月~3月			
	エステティ		担当者	上原•崎浜	科目必修区分	必修			
		サージの基本手技、お	客様のボディ	診断、施術の組みる					
(目的)	のトリートメ	ント技術を習得する。 レケアのクレンジング方							
到達目標	・ボディエス	ボディ技術の基本、ボディ悩みに対する基本的なアドバイスができる ボディエステティックマッサージができる フェィシャルクレンジング、ディープクレンジングの目的を理解し、施術ができる							
授業計画	総授業	時間数 110時間	授業回数	36回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	テキスト教材配布、名 法、実習時の準備物、 ハンドマッサージ			、エステ室使用方	3			
	2	2 タオルの上からM、ハンドM、ショルダーM							
	3	ボディMの準備、セッテイング、モデル案内 足後面M①基本姿勢							
	4~8	足後面				8			
	9	足前面①				2			
	10	2年フェイシャルモデル	3						
	11	足前面②							
	12	F実技試験モデル				5			
	13	滝川講習会(フェイシー	ャル・ボディ)			3			
	14	足前面③				2			
	15~16	背中				5			
	17	ワックス脱毛				3			
	18	美容ライト脱毛				2			
	19	背中				2			
	20~26	通し練習①				26			
	27~28	ボディ模擬試験①				11			
	29	ボディ実技試験				5			
	30	アロマテラピー				3			
	31~32	フェイシャルクレンジン	グ①			6			
	33	ディープクレンジングリ	吸引			2			
	34	フェイシャルパック				3			
	35	フェイシャルマッサージ	ジ軽擦法			3			
	36	フェイシャル機器パタ				3			
	合計時間数					110			
教科書		去人 日本エステティッ		ステティック学 技術	i編 I				
時間外 学習	次回授業書	での復習のため自宅	学習を行う						
成績評価 方法		イント)、確認テスト(5ポイン トり4段階評価とする	√ト)、授業態度	(5ポイント)、課題評価	(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)			
担当詳細	学校基準により4段階評価とする 1、実務家 2. 教員 備 考								
実務経		https://www.bmode.a	L L						
八切川生	W/\PH/1	iioquo.// www.biiiouc.a	<u>~.1b/</u>						

学科•学年	トータルビ	ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	4月~3月				
授業科目	エステテッ	ク理論	担当者	崎浜/大城/上原/金城	科目必修区分	必修				
授業概要		ック技術に必要な生命	活動とホメオ	マスタシス(生体恒常性)	•運動生理学•衛生管	音理・カウ				
(目的)	ンセリング	学を学ぶ								
到達目標	エステティ	ック技術に必要な知識	を身につけ	, コンサルテーション(間	引診・提案)ができる					
授業計画	総授業	時間数	授業回数	21 回 1回授業	45分	授業時間数				
	1	エステ概論 エステテ <i>、</i> ボディエステティックの		ての心構え - 手の使用部位P46・	体の体区分	2				
	2	ボディ技術理論 ビズ 本手技 手法、効果作		セリング 禁忌事項 ボラ 項	ディマッサージ 1基	1				
	3	エステ概論 エステティ 3ソワンエステティック	イックの概念	、、レッスン2エステティッ	ックの本質と領域	3				
	4	カウンセリング レッス	ディ技術理論 ボディの観察、カウンセリング ウンセリング レッスン①②(エステティックカウンセラーの役割・心のメカニ ムと顧客心理 顧客心理のポイント)							
	衛生管理 レッスン①(公衆衛生)1公衆衛生とは何か2世界における公衆衛生の歴史 毎生管理レッスン②1衛生管理全般 2消毒方法の種類とその基本的な使用法・感染症									
	6 衛生管理 レッスン③1感染症のメカニズム 2エステティックに関連する感染症 レッスン4衛生管理の実践 テスト									
	7		ディ技術理論 カウンセリング レッスン③④(カウンセリングの流れ・カウン リングの実際 コンサルテーションシート 体型と体質の判断)							
	8			理学とは 1運動の必要 イジング 1筋肉と老化		2				
	9			歴史 生命の適応進化。 ノスの定義 2ホメオスタ		3				
	10	ホメオスタシス 3ホメオスタシスの具体 生体のホメオスタシスを		ン③(ホメオスタシスを制 凶と3つの配線	制御するしくみ)	3				
	11	ホメオスタシス 免疫系	を、アレルギ	ーのしくみ レッスン		3				
	12			④(運動と代謝・運動プロ 動作と姿勢の関係 レック		3				
	13	④(ホメオスタシスを乱 ホメオスタシスチェック				3				
	14•15	カウンセリング コン	サルテーシ	ョン実践		5				
	16	フェイシャル技術理論	目的、効果・	フェイシャルエステティック	クの流れ、準備	3				
	17 • 18	ワックス脱毛理論①②				5				
	19	エステ機器目的、効果	果、禁忌事	 項		3				
	20	フェイシャル技術理論 ディープクレンジング、		目的、効果、禁忌事項		3				
	21	エステ機器テスト				3				
	合計時間数					55				
教科書	新エステテ	ィック学理論編 I・Ⅱ・	Ш							
時間外										
学習										
成績評価 方法		イント)、確認テスト(5ポイン	/h)、授業態/	要(5ポイント)、課題評価(g	5ポイント)、評価テスト(8	30ポイント)				
1□ 기지 글차 쇼m	学校基準により4段階評価とする									
担当詳細実務経		務家 2. 教員 https://www.bmode.a	備考							
大伤性	ツスハロノ	Incrps.//www.billode.a	∪ .							

学到 学生	L. Hais	テル.到 1年	松木十分	## ₩ ₩	# 关 nt. thu	48 - 58			
H		ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	4月~5月			
授業科目	メイクアッフ	で 機論	担当者	島袋 優	科目必修区分	必修			
		車する基本メイク理論(て学び、メイクに対する			の成り立ち、スキンケ	ア、紫外			
		基本メイク理論を理解し、メイクアップ実技、自身のセルフケア、 川質別スキンケア基礎知識の習得							
授業計画	総授業	時間数 18時間	授業回数	11回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	1 前期シラバス伝達 セルフ使用コスメ紹介 2							
	2 shuuemuraブランド概要①(歴史、商品) 2								
	3	国内ブランド/外資ブラン	/ド/韓国ブラ	ンド/コスメ業界について		1			
	4 基本知識(基本知識/皮膚/骨格/筋肉)顔のパーツ名称について 1								
	5	間違いがちなスキンケア	について/肌	タイプの分類、セルフ肌の	タイプ確認	2			
	6	間違いがちなスキンケア	について/肌	タイプ別スキンケア		2			
	7	間違いがちなuvケア				1			
	8	uvケアの基本				2			
	9	メイクアップ錯効果 メイクアップ黄金バランス				2			
	10	メイクアップデッサンシー	ト作成(フォト	ヘコンテストデッサン)		1			
	11	総まとめテスト				2			
	合計時間数					18			
教科書	shuuemura	テキスト 日本化粧品格	食定2級テキ	・スト					
時間外 学習									
	出席率(5ポ/	イント)、確認テスト(5ポイン	小)、授業態度	ま(5ポイント)、課題評価(5	ぶイント)、評価テスト(8	0ポイント)			
成績評価 方法	学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	1 実務家 2. 教員 備 考								
実務経歴	実務経験紹介 https://www.bmode.ac.jp/								

令和 7 年度 学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ 学科・学年 トータルビューティー科 1年 授業方法 演習・実技 講義時期 4月~3月 授業科目 メイクアップ実習 I 担当者 島袋/大城 科目必修区分 必修 授業概要 (目的) おい uemuraメイクアップ 技術検定の手技習得 メイクアップフォトコンテスト作品創作 コ達目標 クレンジング~フルメイクまでメイクアップの基礎習得 メイクアップの基礎技術を身につけ、shu uemuraメイク技術検定の手技取得 (※shuuemura検定受験希望者は検定取得) JMAメイクアップ協会フォトコンテストへの入賞 化粧品、メイクアップへの興味を広げ実質的に役立つ知識、テクニックの習得				シラバス				
授業科目	令和 7	年度				ーモードカレッジ		
授業報要		,	ューティー科 1年	1	演習•実技	講義時期	4月~3月	
(目的) shu uemuraメイクアップ技術検定の手技習符 メイクアップンタとでは、	授業科目	メイクアップ	プ実習 I	担当者	島袋/大城	科目必修区分	必修	
(目的) shu uemuraメイクアップ 技術検定の手技習得	授業概要	メイクアップ	プに必要わるキンケ	アからメイカア	ップまでの其木テク	フーックを翌得する		
到達目標	(目的)	shu uemu	raメイクアップ技術を	食定の手技習得		ノーソンで 自行する		
メイクアラブの基礎技術を対につけ、shu venura イク技術検定の手技取得 (Stabusemura 検定要験報金置は検定報) (MA イクアラで開金フォトンテストへの入賃 (化粧品、メイクアラブへの興味を定力実質的に及立つ知識、テクニックの習得 (投業計画) 145 時間 授業回数 41回 1回授業 45分 侵業時間数 2 セルフメイク迎スキンケア基礎テクニック実践 3 3 セルフメイク迎スキンケア基礎テクニック実践 3 4 セルフメイク迎スキンケア基礎テクニック実践 3 5 セルフメイク迎スキンクア・シンで表して 4 4 基本セッティング、相モデルにて実践 (タオル様け、ダッカール、スキンケア手技 ウィッグで練習) 3 6 店頭お買い物授業調べ学習 2 6 店頭お買い物授業調べ学習 2 6 店頭お買い物授業調べ学習 2 7 リタッチメイク練習の(ポイントメイク/フルメイク編) 3 9 リタッチメイク練習の(ポイントメイク/フルメイク編) 3 9 リタッチメイク練習の(ポイントメイク/フルメイク編) 5 10 企業研究プレゼンテーシン授業見学 3 11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクニック) 18 19~24 フオトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成 19 27 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 27 現在のトレンド店舗調査 3 19~24 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 2 2 現在のトレンド店舗調査 3 10 2 現在のトレンドは 11 2 2 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 1 1 1 1								
1 数材配布① 2 セルフメイク①スキンケア基礎テクニック実践 3 セルフメイク②でレフスイクアップ基礎テクニック実践 3 セルフメイク②でレフスイクアップ基礎テクニック実践 技術者としての心得について 4 基本セッティング、相モデルにて実践 (タオル掛け、ダッカール、スキンケア手技 ウィッグで練習) 5 化粧品店頭お買い物授業 7 姿勢、身嗜み、セッティング、ケーブ、ダッカール、立ち姿勢、 リタッチメイク練習②(ボイントメイク/フルメイク編) 8 リタッチメイク練習③(ボイントメイク/フルメイク編) 9 リタッチメイク練習③(ボイントメイク/フルメイク編) 10 企業研究プレゼンテーション授業見学 11 トレンドメイクアップ 12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクニック) 18 フォトコンテスト動機付け「作品情報収集 19~24 フォトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成 19 26 ボイントメイク 27 現在のトレンド店舗調査 3 はボイントメイク 28 個性を引き出すメイク(自分に似合ラメイク) 個性を(ボイントバーツ)など目立たせるメイクアップ 29 イベントメイクアップ実習 30 フリーメイク 31~33 shuvemura検定対策 10 31~34 就職活動用メイク 35~40 shuvemura検定対策 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 数科書 おいいのエリテスト(5ボイント)、表業能度(5ボイント)、課題評価(5ボイント)、評価アスト(8のボイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (東落) 2. 数員 備 考	到達目標	メイクアップ (※shuuem JMAメイクア	の基礎技術を身につけ ura検定受験希望者は様 'ップ協会フォトコンテス	、shu uemuraメイク 全定取得) への入賞	対技術検定の手技取 得			
2 セルフメイク①マルフメイクアップ基礎テクニック実践 3 3 セルフメイク②セルフメイクアップ基礎テクニック実践 3 技術者としての心得について 基本セッティング、相モデルにて実践 (タオル掛け、ダッカール、スキンケア手技ウィッグで練習) 3 5 化粧品店頭お買い物授業 2 6 店頭お買い物授業 3 7 少多・チメイク練習②(ポイントメイク/フルメイク編) 3 8 リタッチメイク練習②(ポイントメイク/フルメイク編) 3 9 リタッチメイク練習②(ポイントメイク/フルメイク編) 3 10 企業研究アレゼンテーション授業見学 3 11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ペーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクーック) 18 18 フォトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成(最影) 5 26 ボイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 29 イベトメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 29 イベトメイクアップ実習 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 故職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 3 41 メイク連級試験(1年生対象) 6 数科書	授業計画	総授業時間数 145 時間 授業回数 41回 1回授業 45分						
3 セルフメイク②セルフメイクアップ基礎テクニック実践 3 セルフメイク②セルフメイクアップ基礎テクニック実践 技術者としての心得について 基本セッティング、相モデルにて実践 (タオル掛け、ダッカール、スキンケア手技 ウィッグで練習) 5 化粧品店頭お買い物授業調べ学習 2 1 6 店頭お買い物授業 3 3 7 別タッチメイク練習②(ポイントメイク/フルメイク編) 8 別タッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編) 9 別タッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編) 10 企業研究プレゼンテーション授業見学 11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクニック) 18 フォトコンテスト動機付け/作品情報収集 19 クメトコンテスト動機付け/作品情報収集 19 19~24 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 27 現在のトレンド店舗調査 3 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3		1	教材配布①				3	
技術者としての心得について		2	セルフメイク①スキン	ケア基礎テクニ	ック実践		3	
4 基本セッティング、相モデルにて実践 (タオル掛け、ダッカール、スキンケア手技 ウィッグで練習) 3 5 化粧品店頭お買い物授業 姿勢、身嗜み、セッティング、ケープ、ダッカール、立ち姿勢、 リタッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編) 3 7 リタッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編) 3 9 リタッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編) 5 10 企業研究プレゼンテーション授業見学 3 11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア~メイクテクニック) 18 18 フォトコンテスト動機付け/作品情報収集 3 19~24 フォトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ボイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を引き出すメイク・エントメイクアップ 実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 41 メイク連級試験(1年生対象) 6 数科書 shuuemura検定対策 6 財際業まで自宅学習にて復習を行う 第2 収録評価 (5ポイント)、養業度(5ポイント)、農業度度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 集務第 (6 株)		3	3 セルフメイク②セルフメイクアップ基礎テクニック実践					
信頭お買い物授業 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		4	基本セッティング、相	モデルにて実践		됨)	3	
7		5	化粧品店頭お買い物授業調べ学習					
8		6	店頭お買い物授業				3	
9 リタッチメイク練習③(ポイントメイク/フルメイク編) 5 10 企業研究プレゼンテーション授業見学 3 11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア~メイクテクニック) 18 18 フォトコンテスト動機付け/作品情報収集 3 19~24 フォトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を(ポイントバーツ)など目立たせるメイクアップ 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 教科書 shuuemuraデキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 放横評価 方法 学校基準により4段階評価とする 備考 担当詳細 実務家 2. 教員 備考		7						
10 企業研究プレゼンテーション授業見学 3 11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ペーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクニック) 18 18 フォトコンテスト動機付け/作品情報収集 3 19~24 フォトコンテスト・動機付け/作品情報収集 19 25 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 数科書 shuuemuraデキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 145 数科書 おいuemuraデキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 145 数科書 おいuemuraデキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 2 数単により4段階評価とする 4 表		8	リタッチメイク練習②	(ポイントメイク/	フルメイク編)		3	
11 トレンドメイクアップ 3 12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクニック) 18 18 フォトコンテスト動機付け/作品情報収集 3 19~24 フォトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 位性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 29 イベントメークアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 数科書 shuuemuraデキスト/ipad数材動画 時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 対応率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 4 考		9	リタッチメイク練習③	(ポイントメイク/	フルメイク編)		5	
12~17 ベーシックメイク(基本スキンケア〜メイクテクニック)		10	企業研究プレゼンテ	ーション授業見	学		3	
18		11	トレンドメイクアップ				3	
19〜24 フォトコンテスト作品作成 19 25 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31〜33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35〜40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 145 数科書 shuuemuraデキスト/ipad数材動画 時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 学者 は席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		12~17	ベーシックメイク(基本スキンケア~メイクテクニック)					
25 フォトコンテスト作品作成(撮影) 5 26 ポイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を(ポイントパーツ)など目立たせるメイクアップ 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 教科書 shuuemuraテキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 皮繊維の方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		18	フォトコンテスト動機付け/作品情報収集					
26 ポイントメイク 2 27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を(ポイントパーツ)など目立たせるメイクアップ 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 数科書 shuuemuraデキスト/ipad教材動画 6 時間外学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 編 考		19~24	フォトコンテスト作品作成					
27 現在のトレンド店舗調査 3 28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) (個性を(ポイントパーツ)など目立たせるメイクアップ 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 数科書 shuuemuraデキスト/ipad教材動画 時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 出 考別 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		25	フォトコンテスト作品化	乍成(撮影)			5	
28 個性を引き出すメイク(自分に似合うメイク) 個性を(ポイントパーツ)など目立たせるメイクアップ 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 数科書 shuuemuraテキスト/ipad教材動画 時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 成練評価 方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 4 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		26	ポイントメイク				2	
28 個性を(ポイントパーツ)など目立たせるメイクアップ 3 29 イベントメイクアップ実習 3 30 フリーメイク 3 31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 145 数科書 shuuemuraテキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		27	現在のトレンド店舗訓	問査			3	
30		28					3	
31~33 shuuemura検定対策 10 34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 教科書 shuuemuraテキスト/ipad教材動画 時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		29	イベントメイクアップラ	美習			3	
34 就職活動用メイク 3 35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 教科書 shuuemuraテキスト/ipad教材動画 時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		30	フリーメイク				3	
35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 145		31~33	shuuemura検定対策				10	
35~40 shuuemura検定対策 33 41 メイク進級試験(1年生対象) 6 145								
145 教科書 shuuemuraテキスト/ipad教材動画 次回授業まで自宅学習にて復習を行う 少に関係してでである。 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考 信 考		35~40					33	
教科書shuuemuraテキスト/ipad教材動画時間外 学習次回授業まで自宅学習にて復習を行う成績評価 方法出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)担当詳細実務家 2. 教員備 考		41	メイク進級試験(1年)	生対象)			6	
時間外 学習 次回授業まで自宅学習にて復習を行う			•				145	
学習 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考	教科書	shuuemura	テキスト/ipad教材動	<u> </u>			•	
成績評価 方法 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考	4 1. 4. 1	次回授業	まで自宅学習にて復習	習を行う				
学校基準により4段階評価とする 担当詳細 実務家 2. 教員 備 考		出席率(5ポ	イント)、確認テスト(5ポィ	, ント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)	
	双傾評価 万法	学校基準は	こより4段階評価とする)				
実務経験紹介 https://www.bmode.ac.jp/	担当詳細	1 3	三務家 2. 教員	備考				
	実務経	験紹介	https://www.bmode.	ac.jp/				

令和 7 年度 学校名: 専修学校 ビューティーモードカレッジ 学科・学年 トータルビューティー科 1年 授業方法 実習 講義時期 4月~3月

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	実習	講義時期	4月~3月		
授業科目	ネイル実習		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	・ネイルリ〜	?技術に必要な技術理 『ア技術(チップラップ)で の基本的なジェルカラ	で爪の補修打	支術を習得	マートの技術を習得	よ する		
到達目標	きる ・JNECネイ	JNECネイリスト技能検定試験2級レベルの技術(ハーフチップでの長さだし、リペア補強) JNAジェルネイル初級検定試験レベルの技術(ジェルカラーリング、ジェルアート)ができる						
授業計画	総授業	時間数 164 時間	授業回数	49回 1回授業	45分	授業時間数		
	1	教務紹介、教材配布、	基本セッテ	イング		3		
	2	基本セッティング・基本美	匡技(ファイリン	<i>(</i> グ)		3		
	3	基本実技(ファイリング・5	種類カットスク	タイル)		3		
	4	3級課題フラワーアート				9		
	5	ジェル教材配布、ジェ	ル基本カラ	ーリング		3		
	6	ジェル基本カラーリング	グ・ピーコック	フアート		3		
	7	ケア技術(メタルプッシ				3		
	8~9	ケア技術(ネイルニッパ	《一基本》			6		
	10~12	ケア技術・カラーリング	•			8		
	13~23	3級通し練習(実技・筆	記)			53		
	24	フットネイル(ケア・ファ	イリング)			3		
	25	フットネイル(ケア・カラ				3		
	26	ジェル(フォルム形成・)	ラメグラデー	ション・ワンカラー)		2		
	27	ジェル(ワンカラー)				3		
		ジェル(ワンカラー・ラメ				3		
	30~36	リペア技術(チップ&ラッ	ップ:ハーフ	チップ装着・段差削り・	レジン操作)	18		
	37	ジェル初級対策(フォル	7,0 7,7 -			3		
	38	ジェル初級対策(カラー	ーリング・ピー	ーコックアート)		2		
	39~48	ジェル初級通し練習				30		
	49	ジェルネイル初級校内	試験			3		
	合計時間数					164		
教科書		システムベーシック・テ		ニルベーシックテキスト				
時間外 学習	次回授業	で自宅学習にて復習	を行う					
成績評価 方法	出席率(5ポ	イント)、確認テスト(5ポイン	卜)、授業態度	(5ポイント)、課題評価(5	ポイント)、評価テスト(8	0ポイント)		
かんの見り 川川 カム	学校基準は	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	担当詳細 (実務家) 2. 教員 備 考							
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	e.jp/					

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	通年			
授業科目	ネイル概論	Ĥ	担当者	金城 梓	科目必修区分	必修			
授業概要		歴史や爪の構造、道具							
(目的)		やトラブル、衛生管理が技術に必要な材料学、			と子か				
到達目標		術に必要な爪の構造、 やトラブルを理解し、適			げることができる				
		レネイル技能検定試験)に対応できる				
	40 IT W	. P. HELVIII			. – 0				
授業計画		T	授業回数		45分	授業時間数			
	1	テキスト配布・協会説明				2			
	2	爪のカットスタイル5種		アスト)		2			
	3	爪の名称・働き、技術		-L		2			
	4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
		5 テキストP20-22 ネイルのための皮膚科学・爪の構造働き(確認テスト)							
	6	テキストP37-43 消毒		·h)		2			
	7~8	テキストP30-36 病気				3			
	9~10	ネイル3級筆記 模擬:				2			
	11	テキストP50-54 色彩				2			
	12	テキストP23-29 ネイバ				2			
	13	テキストP44-62 トリー テキストP55-62 プロフ			山	1			
	14 15~16	ジェルP16-25 概論・	-	·	リロン	1 4			
		ジェル検定初級筆記				3			
	合計時間数	ンエル快足が放手品	(民)妖ノハト			30			
 教科書		<u> </u> システムベーシック				30			
		これが出ている。 E試験に向けた筆記問題	題を宿題プロ		 や行う				
時間外 学習	11171100			, , , CO (, L L] H C	-117				
	出席率(5ポ					(0ポイント)			
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(8学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	実務家 2. 教員 備 考								
実務経		https://www.bmode.a							
> 424 NATA	* */I E / I		.11-7_						

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	講義·演習	講義時期	通年			
授業科目	ヒューマン	• •	担当者	崎浜/島袋	科目必修区分	必修			
授業概要	様々な行事 される基本 方を学ぶ	事への取り組みを通して 的な能力を磨く。卒業:	、主体性、 生講話や美	協調性、コミュニケーシ 容業界に関する講話等	タンカなど社会人とし 等を通しで職業人とし	ンて必要と こてのあり			
到達目標	授業及び行	丁事、就職活動等への	取り組みに	ついて、自ら考え主体的	的に行動することがて	<i>ご</i> きる			
授業計画	総授業	時間数 141時間	授業回数	35回 1回授業	45分	授業時間数			
	1~4	入学後オリエンンテー	ション/基礎	学力テスト		12			
	5	新入生歓迎会準備				1			
	6	SABFAメイク講習会				3			
	7	7 学科交流会 3							
	8	新入生歓迎会				4			
	9	月目標設定•健康診断	f			3			
	10	クラスレク				1			
	11	サロン見学(エステ・ネ	イル)			3			
	12	ライフプラン講座				3			
	13	卒業制作発表会見学				4			
	14	終業日夏休み注意事	項・クラスレ	ク		3			
	15	始業日目標設定				1			
	16	秋休みサロン見学動格	幾付け			1			
	17	サロン体験発表				3			
	18~33	学園祭準備•学園祭				90			
	34	終業日 学園祭振り返	り冬休み	注意事項		4			
	35	終業日1年次振り返り				2			
	合計時間数					141			
教科書									
時間外 学習	各目的に応	各目的に応じた目標を達成するために必要に応じて時間外学習として準備作業に取り組む							
上海市屋 上江	出席率(20	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント)							
成績評価 方法	学校基準に	こより4段階評価とする							
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員) 備 考								
実務経	験紹介	https://www.bmode.a	<u>c.jp/</u>						

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	演習•講義	講義時期	10月~3月		
授業科目	就職実務		担当者	* " " ' * * * " = * '	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	せて履歴書	*作成や面接対応トレー	ーニング(基	対組み方など職業人とし 礎)を行い就職活動の		を学ぶ。併		
到達目標	•履歴書作	面接応対ができる(入え 成ができる 会を通し、企業情報収						
授業計画	総授業	時間数 45時間	授業回数	13回 1回授業	45分	授業時間数		
	1	センスアップセミナー根	既要説明•前	前年度実施VTR ・自己	已表現	2		
	2	就活スケジュール 文	章作成「面技	妾でうまくこたえられるた	こめに(PREP)	3		
	3	前田会長職業講話 台	合同企業説	明会		6		
	4 自己PR文章作成 面接練習①							
	5	面接練習②企業説明	会			6		
	6	美容科合同 立居振る	5舞い(受付	での自己紹介含む)		3		
	7	プレ模擬面接試験(美容科・トー	タルビューティー科合	司)履歴書の書き方	6		
	8	就活説明/労働セミオ	-			3		
	9	職業講話/卒業生講話						
	10	就職活動(調べ学習①)/企業説明会						
	11	就職活動(調べ学習②	())/企業説	明会		3		
	12	自己PR文章作成				2		
	13	自己PR文章作成				2		
	合計時間数					45		
教科書	就職活動の							
時間外 学習	自宅学習:	模擬面接に向け、自己	分析した内	容についてスピーチト	レーニングを行う			
	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(0ポイント)		
成績評価 方法	学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員) 備 考							
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	<u>c.jp/</u>					

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	美省	講義時期	4月~2月	
授業科目			担当者	学科職員•実習先	科目必修区分	必修	
授業概要		容技術を外部(専門学 カインターンシップ実習 ぶ				接客の仕	
到達目標	サロン現場	イル、エステの基本とな 易で基本的業務の流れ うことができる				め、職種選	
授業計画	総授業	時間数 37時間	授業回数	6回 1回授業	45分	授業時間数	
	1	合同サロンワーク(2年	生の施術体	験)		12	
	2~6	インターンシップ				25	
	合計時間数					37	
 教科書	百司时间数					31	
時間外 学習							
成績評価 方法	出席率(5ポ	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント)					
水傾叶Ш 刀伍	学校基準は	こより4段階評価とする					
担当詳細	(.)	孫家 2. 教員	備考				
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	c.jp/				

学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	講義	講義時期	8月~11月			
授業科目	パーソナル	カラー	担当者	大濱 宮子	科目必修区分	必修			
授業概要 (目的)		明度、彩度、色相を学 ョンのコーディネイト術		ップ、ネイル技術に必	要な色の組み合わせ	ナ、デザイ			
到達目標	・パーソナ	ーズンのカラー基本を理 ルカラー3級検定取得 の判断基準となる色素の		PO別コーディネイト方	7法知識をアドバイス	できる)			
授業計画	総授業	総授業時間数 48時間 授業回数 15回 1回授業 45分 授業時間数							
	1	授業の進め方につい	て、パーソナ	ルカラーの捉え方、色	の三属性、色相環	3			
	2	イエローベースとブル・ ウォームカラーとクーバ 第2章 トーンと4グル・	レカラー明度		ラーの4グループ	3			
	3	4グループの三属性、	似合う色の基	蓬準(肌・髪・眼)、ドレ	ーピング実習	3			
	4	ドレーピング、気を付け	けるポイントと	照明光、各章のまとめ	、トーン図の作成	3			
	5	第2章、3章の振返りま	とめ、第4章	対比現象(色相、明度	、彩度)	3			
	6	第4章、5章、6章のま	とめ			2			
	7	3級まとめ、3級範囲の	テスト(解答と	&解説)		3			
	8	別冊公式問題集(解答	&解説)			3			
	9~11	過去問題(解答&解説))			11			
	12	過去問題より模擬テス	ト、パーソナ	ルカラー検定3級(校内	N試験)	5			
	13~15	ドレーピングを使用した	た3属性の見	分け方、実践(メイク)		9			
	合計時間数					48			
教科書	J-color バ	ーソナルカラー検定公	:式テキスト3約	吸、2級					
時間外 学習	各章まとめ	テストや過去問題テスト	、に向けて、往	复習の為の自宅学習を	を行う				
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細		務家 ②. 教員	備考						
実務経	験紹介								

技業報日 コンピュータ実習 担当者 金娘 梓 科日必修区分 必修 技業報要 がロン業務で必要とされる基本的なオペレーション手法(文書作成・表計第)やDM作成などの基礎 的な技術を習得する ののgle・アクの活用、画像処理及び文書作成、簡単な表計算が活用できる 投業計画 総授業時間数 6時間 投業回数 2回 1回授業 45分 投業時間数 1 Google・アクリ基礎(Google・の仕組み、共有ドライブ、Gメール) 2 2 文書作成、表計算、画像・画像処理 3 3 3 3 3 3 3 3 3	学科•学年	トータルビュ	ューティー科 1年	授業方法	演 省•講義	講義時期	4月~8月	
(目的) 的な技術を習得する 到達目標	授業科目	コンピュー	タ実習	担当者	金城 梓	科目必修区分	必修	
(日的) 到達目標	授業概要			」なオペレー:	ション手法(文書作成・	表計算)やDM作成	などの基礎	
接業時間数 6時間 接業回数 2回 1回接業 45分 接業時間数 1 Googleアブリ基礎(Googleの仕組み、共有ドライブ、Gメール) 2 文書作成、表計算、画像・画像処理 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(目的)	的な技術を	で省待する					
1 Googleアプリ基礎(Googleの仕組み、共有ドライブ、Gメール) 2 文書作成、表計算、画像・画像処理 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	到達目標	Googleドラ	イブの活用、画像処理	及び文書作	成、簡単な表計算が活	舌用できる		
1 Googleアプリ基礎(Googleの仕組み、共有ドライブ、Gメール) 2 文書作成、表計算、画像・画像処理 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3								
1 Googleアプリ基礎(Googleの仕組み、共有ドライブ、Gメール) 2 文書作成、表計算、画像・画像処理 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3								
2 文書作成、表計算、画像・画像処理 3	授業計画	総授業	時間数 6時間	授業回数	2回 1回授業	45分	授業時間数	
数科書 特になし ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り 学習 出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 ② 教 別 備 考		1	Googleアプリ基礎(Go	oogleの仕組み	み、共有ドライブ、Gメ-	ール)	2	
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考		2	文書作成、表計算、画	画像·画像処3	理		3	
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書特になし時間外 学習ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り成績評価 方法出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント)学校基準により4段階評価とする1. 実務家 2. 教員 備 考								
時間外 学習 ipadを使用してプレゼン資料作り、ibisPaint・x画像アプリにて作成作り 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 1. 実務家 2. 教員 備 考		合計時間数						
学習 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考	教科書	特になし					•	
学習 出席率(5ポイント)、授業態度(15ポイント)、課題評価(80ポイント) 対を基準により4段階評価とする 1. 実務家 2. 教員 備 考	時間外	ipadを使用	してプレゼン資料作り	、ibisPaint•x	画像アプリにて作成作	三り		
成績評価 方法 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考								
学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考	Note that for	出席率(57	ポイント)、授業態度(1	5ポイント)、	課題評価(80ポイント)			
	成績評価 方法							
	担当詳細	1. 実	※務家 2. 教員	備考				
	実務経	験紹介	https://www.bmode.a	ac.jp/				

△ ∓n 7	左庇		学 はなり ま	百枚学坛 ビー ニ・	一工一ドカ レルンジ			
令和 7		<u></u>	学校名: 專授業方法	『修学校 ビューティ 講義・演習	ーモードカレッン 講義時期	4~8月		
	志学 I	<u> </u>	担当者		科目必修区分	必修		
授業概要	KBC学園⊄)教育理念に掲げた「ラ いて理解を深め、望ま	水久戦力」を目	指し、人間性を磨き	各自の「志」を立てる			
到達目標		句や社会性、ストレス耐 た行動指針である「学				里解し、そ		
授業計画	総授業時間数 25時間 授業回数 12回 1回授業 45分							
	1	「志学」の学習の目標 ・「志」学の背景、学		」の進め方、学び方		2		
	2	_ : : :	〜第2章〜 感動 ・感動することの喜び・「協働」の態度を持った学校生活・協力する力(相乗 効果を発揮する)を持つ					
	3	~第1章~ 感謝 ・自分を支えてくれる ・目指す人財(永久)			の日本	2		
	4	吉田さんHS ・コミュニケーションゲーム						
	5	〜第5章〜 挨拶 ・より良い人間関係を築く一歩としての挨拶 ・相手に敬意を表する ・思いを伝える挨拶・"挨拶"はコトバ・キモチ・カタチ						
	6	〜第3章〜 思いやり・気配り ・モラル、ルールを考える・人の価値観とマナー・思いやり ・気配りのカタチ・より良い人間関係に繋げる心がけ						
	7	~第6章~ 素直 •成長に繋がる人とし •素直な姿勢の基本			れる	3		
	8	~第7章~ プラス思考 ・自己効力感とは・プラス思考へ繋がる自己肯定感・人生を成功に導く ~第8章~ チャレンジ精神 ・目指す仕事への第1歩 ・学習歴社会における学校生活 ・未来を切り開く「チャレンジ精神」 ・目標設定と目標達成						
	8	~第4章~ 明朗 •印象の善し悪しが ある	及ぼす影響・明	目朗な表情が示すもの)・態度にも明朗さが	2		
	9	〜第9章〜 永久戦力・永久戦力		指して ・「志学 I 」	を振り返る	2		
	合計時間数							
教科書	KBC学園	志学Ⅰ・Ⅱテキスト						
時間外 学習	学生クレド	に基づいた行動を日常	生活の中で実	践していく				
成績評価 方法		ポイント)、授業態度(5 こより4段階評価とする	50ポイント)、提	出物・課題評価(30)	ポイント)、			
担当詳細		医務家 (2. 教員)	備考					
	 験紹介	https://www.bmode.a	.,,,					

学科·学年	トータルビ	ューティー科2年	授業方法	講義	講義時期	6月~8月
授業科目	メイク概論((企業研究)	担当者	島袋 優	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)		侖(化粧品の法律上の? 後能、使用される主な原				
到達目標		果で必要となる代表成分 身の肌管理へ活かして		里解し、お客様の肌タ/	「プや肌の悩みに応じ	じた化粧品
	総授業	時間数 9時間	授業回数	5回 1回授業	45分	授業時間数
	1~3	【レッスン8】化粧品の ①水性原料・油性原料 ②界面活性剤、高分-	斗	香料		6
	4	総まとめ 復習				1
	5	総まとめ 復習				2
授業計画						
	合計時間数					9
教科書		L 去人 日本エステティック	が協会 新エス	ステティック学 理論編	Ⅱ 日本化粧品検定2	
時間外						
学習 ————				In that the second of the	20 22 22	
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(30ポイント)、提出物・課題評価(50ポイント) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	_	<u>務家</u> 2. 教員	備考			
実務経	験紹介	https://www.bmode.a	<u>.c.jp/</u>			

1 フェイシャル技術理論 2 フェイシャルカウン・セリング① 3 フェイシャルカウン・セリング② 4 フェイシャルカウン・セリング② 4 フェイシャルカウン・セリング③ 6 エステティック機器・電気学①電気理論 7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命処理 11 財漁法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験② 16 模擬試験③ 17 模擬試験③ 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 数科書 中間外 学習 センター試験対策用問題集 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、決業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 「実務第 2. 教員 備 考	学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	講義	講義時期	8月~9月	
(目的) な応急処置を学ぶ (表表 (大ツ) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学	授業科目	エステティ	ック理論	担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	必修	
・		エステティ	ックサロンにおける法律			対急の現場に遭遇し	た際の適切	
1 フェイシャル技術理論 2 フェイシャルカウンセリング① 3 フェイシャルカウンセリング② 4 フェイシャルカウンセリング② 4 フェイシャルカウンセリング③ 6 エステティック機器・電気学①電気理論 7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト②機擬試験① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験③ 16 模擬試験③ 17 模擬試験③ 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 数科書 時間外 学習 センター試験対策用問題集 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、誤業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (実務) 2 数員 備 考	到達目標	お客様に	合わせたトリートメントフ	プランを立て、		項の説明ができる		
2 フェイシャルカウンセリング① 3 フェイシャルカウンセリング② 4 フェイシャルカウンセリング② 5 フェイシャルカウンセリング③ 6 エステティック機器・電気学①電気理論 7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーションサロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 16 模擬試験③ 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験合計時間数 18 午前試験対策、午後エステティックを理論編Ⅰ・Ⅲ・Ⅲ、技術編Ⅰ 19 時間外学習 センター試験対策用問題集 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 〔実務第 2. 教員 備 考	授業計画	総授業	時間数 45時間	授業回数	18回 1回授業	45分	授業時間数	
3 フェイシャルカウンセリング② 4 フェイシャル機器理論 5 フェイシャルカウンセリング③ 6 エステティック機器・電気学①電気理論 7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 16 模擬試験② 17 模擬試験② 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45		1	フェイシャル技術理論				2	
		2	フェイシャルカウンセリ	ング①			2	
5 フェイシャルカウンセリング③ 6 エステティック機器・電気学①電気理論 7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 教急法①教急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 教急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーションサロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 教急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 17 模擬試験② 18 午前試験対策 18 午前試験対策 18 午前試験対策 19 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 財間外 学習 センター試験対策用問題集 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(8のポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1 実務家 2. 教員 備 考		3	フェイシャルカウンセリ	ング②			2	
6 エステティック機器・電気学①電気理論 7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 17 模擬試験② 17 模擬試験③ 17 模擬試験① 18 午前試験対策 18 午前試験対策 18 午前試験対策 19 中がイス法や化粧品の選択等についての情報収集 センター試験対策用問題集 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (実務家 2. 教員 備 考		4	フェイシャル機器理論				2	
7 エステティック機器・電気学②人体と電気 8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②連営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 16 模擬試験③ 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、技術編Ⅰ 時間外 学習 センター試験対策用問題集 成績評価 方法 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (、実務家 2. 教員 備 考		5	フェイシャルカウンセリ	ング③			3	
8 救急法①救急法の基本、エステティシャンの関わる救急法 9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 2 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験② 16 模擬試験③ 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外学習 上の多社の表表を化粧品の選択等についての情報収集 ・センター試験対策用問題集 成績評価 方法 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (1.実務す 2.教員 備 考		6	エステティック機器・電	気学①電気	理論		2	
9 救急法②応急手当、一時救命処置 10 サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 2 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習 センター試験対策用問題集 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、長業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (、実務家 2. 教員 備 考		7	エステティック機器・電	気学②人体	と電気		2	
10 サロン経営①サロン開設のシュミレーション サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験② 16 模擬試験② 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習 世路率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 世当詳細 (、実務家 2. 教員 備 考		8	救急法①救急法の基準	本、エステテ	イシャンの関わる救急	法	2	
10 サロン経営②運営と管理、サロン繁栄のために 11 救急法③一時救命実践講習 関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12 エステティック機器・電気学 テスト 13 各章問題テスト②模擬試験① 14 各章問題テスト②模擬試験① 15 模擬試験② 16 模擬試験③ 17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習 D機器であったがバイス法や化粧品の選択等についての情報収集 センター試験対策用問題集 は席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 (実務) 2.教員 備 考		9 救急法②応急手当、一時救命処置						
関連法規①法の基礎知識、消費者保護、関連する法規 12		10					2	
13 各章問題テスト① 2 14 各章問題テスト②模擬試験① 3 15 模擬試験② 2 16 模擬試験③ 2 17 模擬試験④午前試験対策 5 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 6 合計時間数 45 45 45 45 45 45 45 4		11						
14 各章問題テスト②模擬試験① 2 15 模擬試験② 2 16 模擬試験③ 2 17 模擬試験④午前試験対策 5 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 6 計時間数 45 45 45 18 中間法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		12	エステティック機器・電	気学 テスト	,		2	
15 模擬試験② 2 16 模擬試験③ 2 17 模擬試験④午前試験対策 5 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 6 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習		13	各章問題テスト①				2	
16 模擬試験③ 2 17 模擬試験④午前試験対策 5 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 6 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習		14	各章問題テスト②模擬	試験①			3	
17 模擬試験④午前試験対策 18 午前試験対策、午後エステティックセンター試験 合計時間数 45 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外		15	模擬試験②				2	
18		16	模擬試験③				2	
会計時間数 45 教科書		17	模擬試験④午前試験	対策			5	
 教科書 一般社団法人 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・II・III、技術編 I 時間外 学習		18	午前試験対策、午後二	エステティック	センター試験		6	
時間外 学習		合計時間数					45	
学習 センター試験対策用問題集 成績評価 方法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 . 実務家 2. 教員 備 考	教科書	一般社団治	去人 日本エステティッ	ク協会 新エ	ステティック学 理論網	編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、技術編	I	
出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする 1 当詳細 1 実務家 2. 教員 備 考	時間外	肌悩みに通	適したアドバイス法や化	粧品の選択	等についての情報収集	· 集		
成績評価 方法 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考	学習	センター試	験対策用問題集					
学校基準により4段階評価とする 担当詳細 . 実務家 2. 教員 備 考	- N-4-37 /m - 1-34	出席率(5ポ	イント)、確認テスト(5ポイン	小)、授業態度	(5ポイント)、課題評価(5	ポイント)、評価テスト(8	(0ポイント)	
	成績評価 万法	学校基準に						
宝教経驗紹介 https://www.hmodo.ac.in/	担当詳細	担当詳細 (1. 実務家 2. 教員 備 考)						
大4为性吸加了 IIIIUps.//www.bIIIOue.ac.p/	実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	c.jp/				

授業科目 メイク概論(業界企業研究) 担当者 島袋 優 科目必修区分 授業概要 (目的) 化粧品業界の概況、企業特性について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究、資料ゼンテーションまでの実施 企業研究を通し、企業の目的、戦略、企業背景、商品に込められた想いを知るチーム内で進めていく中で自身の役割、コミュニケーションスキルを上げていく							
(目的) センテーションまでの実施 企業研究を通し、企業の目的、戦略、企業背景、商品に込められた想いを知る							
到達目標 企業特性について研究し、相手に分かりやすく筋道を立てたプレゼンテーションスキルを る。自身のチーム内での役割を果たす							
総授業時間数 27時間 授業回数 11回 1回授業 45分	授業時間数						
前期メイクスケジュールについて 1 企業研究概要説明/グループ割り振りリーダー決め/ プレゼンブランド決定/ブランド調べ/グーグルスライド使用方法説明	2						
2~4 企業ブランド調べ	8						
5 化粧品店頭お買い物	3						
6~9 企業ブランド調べ	8						
10 企業研究プレゼン発表※保護者会にてプレゼン予定(実習授業で5コマ)	5						
11 振り返り	1						
授業計画							
合計時間数	27						
出席率(20ポイント)、授業態度(30ポイント)、提出物・課題評価(50ポイント)							
教科書 ipad資料							
時間外 学習							
出席率(20ポイント)、授業態度(30ポイント)、提出物・課題評価(50ポイント)・プレゼンテーショ	ン授業結果						
成績評価 方法 学校基準により4段階評価とする	- 21316213						
担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考							
実務経験紹介 https://www.bmode.ac.jp/							

			, p, p,	* 12			
学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	実習	講義時期	4月~9月	
授業科目	エステティ	ック実習 Ⅱ	担当者	崎浜 小百合	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	コンサルテ	がからフェイシャルマッ ーション(肌診断・問診 アドバイスまでのトリー)	•提案)を通	してお客様のボディ診		文立て、	
到達目標	日本エス	ル技術の基本、肌悩み テティック協会 認定エング グ、カウンセリング、デ	ステティシャ	ン フェイシャル実技試	験に対応できる	きる	
授業計画	総授業	時間数 90時間	授業回数	23回 1回授業	45分	授業時間数	
	1	基礎化粧品調べ学習				3	
	2	クレンジング、マッサー	・ジ軽擦法((ウィッグ)		2	
	3	クレンジング、軽擦法の	2)			3	
	4	クレンジング、軽擦法の	3)			3	
	5	クレンジング、マッサー	・ジ、軽擦法	④強擦法、機器パター	ーマッサージ	5	
	6	マッサージ揉捻法、打	法、バイブロ	ノーション		3	
	7	機器導入、パック				3	
	8	8 クレンジング、マッサージ通し練習					
	9	9 クレンジング、吸引、マッサージ、パック					
	10	ディープクレンジング酉	孝素、ゴマー	ージュ、機器、パター、導		3	
	11	コンサル、フェイシャル	通し練習(2	クレンジング、ディープ	クレンジング、マッサ・	5	
	12	コンサルテーション				3	
	13	滝川講習会(フェイシャ	ァル・ボディ))		5	
	14 フェイシャル通し練習						
	15	フェイシャル模擬②				5	
	16	フェイシャル模擬③				5	
	17	フェイシャル実技試験	(1年合同)			5	
	18	アロマテラピー①				3	
	19	リフレクソロジー理論・	実技(フット	バス、ファイル、リフレク	ソロジー)	5	
	20	アロマテラピー②				5	
	21	ヘッドマッサージ				3	
	22	タオルの上からマッサ	ージ①			3	
	23	タオルの上からマッサ	ージ <u>②</u>			3	
	合計時間数					90	
教科書	一般社団沒	去人 日本エステティック	ク協会 新二	エステティック学 技術	編 I		
時間外 学習	次回授業は	に向けて自宅学習にて	復習を行う				
成績評価 方法	出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポイント) 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	(.)	務家 2. 教員	備考				
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	c.jp/				

対象学年	トータルビ	ューティー科2年	授業方法	講義・	演習	講義時期	4月~9月
授業科目	メイクアップ	プ実習Ⅱ	担当者	島袋 /	大城	科目必修区分	必須
授業概要 (目的)		成要素(ポイントパーツ) (年代別メイク、舞台メイク				メイクアップの実践	
到達目標	メイクアップ	こ合わせたメイクアップ プの理論を(ロジック)を テスト作品作成入賞			の取得		
授業計画	総授業	時間数 84時間	授業回数	24回	1回授業	45分	授業時間数
	1	前期メイクアップ授業	説明/模写メ	イク アイライ	イン×ドッl	トデザイン	3
	2	メイクの歴史 時代別	メイク (19904	年代)			5
	3~5	今期トレンドメイク					13
	6~9	外国人風メイク(欧米)	レッスン/相	手に合わせ	た欧米メイ	イク考案/実践	12
	10	企業研究プレゼン授業	美実践				5
	11	外部福祉施設ボランラ	ティア リタッ	チメイク練習			3
	12	外部福福祉施設ボラン	ノティア				3
	13~18	フォトコンテスト作品作	成①				18
	19	フォトコンテスト作品撮影					
	20	ツィッギーメイク(1960年	丰代)				3
	21	歌舞伎メイク					5
	22~24	模写メイク説明(お顔分	分析に基づき	き、個性を活	かすメイク	アップ)	11
	A 31 a C PP 300						
 教科書	合計時間数 shuuemura		命定2級テキ	-スト			84
時間外学習	on a contact of	·		× 11			
成績評価 方法		イント)、確認テスト(5ポイン こより4段階評価とする	小)、授業態度	度(5ポイント)、	課題評価(5ポイント)、評価テスト((80ポイント)
担当詳細	1. 美	『務家』 2. 教員	備考				
実務経	験紹介 ~	https://www.bmode.a	<u>c.jp/</u>				

学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	演習	講義時期	10月~2月			
授業科目	就職実務		担当者	金城 梓	科目必修区分	必修			
(目的)	的な手法で	を通して就職活動に必 で意見発表ができるよう	プレゼンテー	ーションスキルを習得す		うった効果			
到達目標		を行い、試験対策を行 定企業について、企業			けることができる				
授業計画			授業回数	13回 1回授業	45分	授業時間数			
		1~2 企業説明会・職業研究 9 3~8 就活スケジュール作成・自己分析・面接練習 8							
	3~8 就活スケジュール作成・自己分析・面接練習								
	9~12								
	13	13 内定先説明会資料作成・発表							
	合計時間数					24			
教科書	特になし								
時間外 学習	内定先につ	内定先についての情報収集活動							
	出席率(20	ポイント)、授業態度(5	0ポイント)、	提出物·課題評価(30s	ポイント)				
成績評価 方法	学校基準は	こより4段階評価とする	•						
担当詳細	1. 実	務家 (2. 教員)	備考						
実務経	験紹介								

W 401 - W 5-	1 4	~ NoF	15: N/A 1 . N/I	## *					
		ューティー科2年	授業方法	講義・演習	講義時期	4月~3月			
授業科目	ヒューマン	·	担当者	金城梓	科目必修区分	必修			
授業概要 (目的)		様々な行事への取り組みを通して、主体性、協調性、企画運営力、コミュニケーション力など、社会人として必要とされる基本的な能力を磨く							
到達目標	•授業及び	・授業及び行事、就職活動等への取り組みについて、自ら考え主体的に行動することができる							
授業計画	総授業	時間数 65時間	授業回数	17回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	2年次動機づけ・年間	スケジューバ	V		1			
	2	副校長によるHS				3			
	3	新入生歓迎会				4			
	4	健康診断				2			
	5	ライフプラン講座				2			
	6	6 卒業制作(Bフェス)振り返り 2							
	7	終業日(夏休みの注意	事項・スケ	ジュール確認)		3			
	8	始業日(コース選択に	ついて)			1			
	9 ∼ 12	学園祭準備•学園祭				22			
	13	学園祭片付け・道具類	の整理整頓	頂(大掃除)・スケジュー	ル確認	4			
	14	始業日(スケジュール研	雀認•卒業詩	犬験について)		2			
	15	卒業試験レイアウト準備	備			3			
	16	ありがとうサロン準備・な	ありがとうサ	ロン(保護者会)		13			
	17	終業日				3			
	合計時間数					65			
教科書	特になし								
時間外 学習	各目的に応	いじた目標を達成するだ	とめに必要し	こ応じ時間外学習として	て取り組む				
	出席率(20	ポイント)、授業態度(5	0ポイント)、	提出物•課題評価(30	ポイント)				
成績評価 方法	学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員) 備 考								
実務経	験紹介								

学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	講義·演習·実技	講義時期	4月~9月			
授業科目	ネイル実習	IП	担当者	金城 梓	科目必修区分	必須			
授業概要	ジェル技術 得する	に必要な技術理論と、	基礎テクニ	ック、爪のケア、カラー	リング、基本アートの	技術を修			
到達目標	・ジェルネー(ジェルネイル	ル検定2級取得(チッ イルサロンワーク実技 材料の特性を生かした を(ワンカラー)りが片手:	:デザインや	カラーリングができる)	アートができる)				
授業計画	総授業	時間数 85時間	授業回数	20回 1回授業	45分	授業時間数			
	1~8	2級フルタイム通し練習	73 3			44			
	9	トレンドジェルデザイン	′分解·作成			2			
	10	マシンオフ、ケア・1年	生交流授業	(ジェルオフ)		5			
	11~12	フォルム形成・サロンフ	ファイリング			10			
	13	サロンワーク(フルチッ	プ・ハーフチ	ーップ長さだし)		3			
	14~15	トレンドジェルデザイン	/			6			
	16	サロンワーク(フォルム)	形成・ワンカ	ラー)		3			
	17	サロンワーク(マシンオ	サロンワーク(マシンオフ、ケア・シンプルデザイン)						
	18~20	サロンワーク(フォルム)	形成・トレン	ドデザイン)		9			
	合計時間数					85			
教科書	テクニカル	システムジェルネイル							
時間外 学習	次回授業書	での復習のため、自宅	三学習を行う						
D (44-74-1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	出席率(5ポ	イント)、確認テスト(5ポイン	小)、授業態度	E(5ポイント)、課題評価(5	「ポイント)、評価テスト(8	0ポイント)			
成績評価 方法	学校基準は	こより4段階評価とする							
担当詳細									
実務経	験紹介	https://www.bmode.a	c.jp/						

学科·学年	トータルビューティー科2年	授業方法	授業方法 講義		4月~6月					
授業科目	ネイル概論	担当者	金城 梓	科目必修区分	必修					
授業概要	サロンデザインの基盤としてジェ	ナロンデザインの基盤としてジェルネイルトレンド技術を学び、分析力を身に付ける								
(目的)										
到達目標	ジェルデザインの工程を分解する		ナコレフォルン							
	デザインシートにデザイン内容	を分かりやすく	表記する事かできる							
授業計画	総授業時間数 6時	間 授業回数	2回 1回授業	45分	授業時間数					
	1~4 ジェルネイルトレンド	分析・デザインク	分析		6					
	合計時間数				6					
教科書	テクニカルシステムベーシック、	テクニカルシステ	テムジェルネイル							
時間外	評価なし									
学習										
成績評価 方法										
79-70XH1 IIII - 79 IA										
担当詳細	主 実務家 2. 教員	備考								
実務経	験紹介 https://www.bmode	.ac.jp/								

学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	講義·演習·実技	講義時期	10月~2月				
授業科目	専門応用第	 尾習(メイク)	担当者	担当者 島袋 科目必修区分		選択				
授業概要	エステ・メイク・ネイルの専門分野に分かれて業界で必要となる応用技術を修得する									
(目的)										
到達目標	JMAメイクアップ1級検定、日本化粧品検定1級検定試験取得。お客様の肌悩み、気がかりなどを聞き出し要望に沿った提案ができる。化粧品の中身や成分、ボディケア、ヘアケア、ネイル、香り、オーラルケア、化粧品にまつわるルール等、専門的知識を習得する。対応力の強化(状況に応じた接客、カウンセリング、施術ができる)									
授業計画	総授業	時間数 180時間	授業回数	42回 1回授業	45分	授業時間数				
	1	コース選択への心構え、 検定試験(JMA/日本化料 今期トレンドメイク		7関係のお仕事)仕事の理 要説明	里解、目標設定	5				
	2	2 デザインメイク								
	3	日本化粧品検定1級対	対策 化粧の	歴史		3				
	4~8	日本化粧品検定1級対	対策 化粧品	の原料		15				
	9~16	日本化粧品検定1級対	対策 化粧の	種類と特徴		20				
	17~20	日本化粧品検定1級対	対策 化粧に	まつわるルール		10				
	21	日本化粧品検定1級対	対策 化粧の	官能評価		5				
	22	復習/まとめ				5				
	23	日本化粧品検定1級対	対策模擬試験	 矣		5				
	24			・イメージに近づくポイン シュ・クールイメージメ	• • • •	5				
	25~28	「イメージメイク実習①」・キュートメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をキュートメイクに近づけるポイント ・エレガントメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの描き方 ・モデルの顔をエレガントメイクに近づけるポイント ・フレッシュメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をフレッシュメイクに近づけるポイント(実習 45 分) ・クールメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの描き方 ・モデルの顔をクールメイクに近づけるポイント								
	29		イク・アイメイ	oイメージ・ポイントメイク <i>の</i> クを強調したメイク・フル <i>っ</i> 問したメイク		5				
	30~32			ポイント・カウンセリングシ !リングレッスン(外部モデ		15				
	33	「スピードスキンケア」・スト	ピードメイクス	オフ~スキンケア・カウ	ンセリング	5				
	34	「スピードメイクのポイント」	・メイク設計と	アイテム選び・フルメイク	フチェック	5				
		検定試験模擬練習				20				
		化粧品ラッピング(基本	に/ギフト)化	粧品ディスプレィ(基本	•応用)	9				
		卒業試験				10				
	43	卒業試験模擬試験	h			5				
	44	卒業試験実技、卒業詩	大験筆記			8				
	合計時間数					180				
教科書	JMA1級テ									
時間外 学習	次回授業書	で自宅学習にて復習を	を行う/動画学	学習						
成績評価 方法	出席率、確	認テスト、授業態度、誤	果題評価、評	価テスト						
70/198日 川	評価 万法 出席率(5ポイント)、確認テスト(5ポイント)、授業態度(5ポイント)、課題評価(5ポイント)、評価テスト(80ポ									
担当詳細	〔1. 集	孫家 2. 教員	備考							
実務経験紹介	https://ww	w.bmode.ac.jp/								
	<u></u>									

	ı				1	1				
<u> </u>	トータルビューティー科2年		授業方法	講義・演習・実技	講義時期	10月~2月				
授業科目		実習(ネイル)	担当者	金城 梓	科目必修区分	選択				
授業概要	エステ・メイ	エステ・メイク・ネイルの専門分野に分かれて業界で必要となる応用技術を修得する								
(目的)										
到達目標	 ・JNAジェルネイル技能検定試験中級 工程ができる (カラーグラデーション、ジェルスカルプチュア、フレンチネイル) ・JNAネイル検定1級レベルの技術工程ができる (アクリルスカルプチュア、チップオーバーレイ、3Dアート) 									
	総授業									
及未时固	1			ア(ミクスチュアコントロール・		5				
	2			ア(ミクスチュアコントロール・		5				
	3~5	アクリルスカルプチュア			/ //	9				
	6~8			グラ・フレンチ・長さだし)	9				
	9~14	ジェル中級検定通し網	··········· 東習			21				
	15	ジェル中級模擬試験				5				
	16~20	ジェル中級検定通し網	· 東習			21				
	21	ジェルネイル中級検定	2校内試験			5				
	22~27	サロンワークレッスン(フ	カウンセリン	グ・施術・基本業務)		27				
	28	マシンオフ、ケア・アク	リルスカルフ	プチュア		3				
	29~31	ジェルスカ(上級)・アク	リルスカルフ	プチュア		13				
	32	ジェルスカ(上級)・アク	リルスカルフ	プチュア		3				
	33~34	フットネイル(ケア・ファ	イリング・ジェ	ェルデザイン・角質ケア	`)	10				
	35~37	ジェルスカ(上級)・アク	リルスカルフ	プチュア		13				
	38~41	商品ラッピング・卒業記	式験対策(サ	ロンワーク)		18				
	42	卒業試験模擬試験				5				
	43	卒業試験実技				5				
	44	卒業試験筆記				3				
	合計時間数					180				
教科書	テクニカルシステムジェルネイル									
時間外 学習	次回授業までの復習のため、自宅学習を行う									
4.4=57年 - 1-34-	出席率(5ポ	イント)、確認テスト(5ポイン	/h)、授業態度	度(5ポイント)、課題評価(5	5ポイント)、評価テスト(30ポイント)				
成績評価 方法	学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	1. 実務家 2. 教員 備 考									
実務経	験紹介	https://www.bmode.a	<u></u>							

学科•学年	トータルビューティー科2年		授業方法	実習	• 講義	講義時期	10月~2月		
授業科目	専門応用実	習(エステティック実習)	担当者	崎浜	小百合	科目必修区分	選択		
授業概要	エステ・メイ	エステ・メイク・ネイルの専門分野に分かれて業界で必要となる応用技術を習得する							
(目的)									
到達目標	・公益社団法人日本アロマ環境協会 アロマ検定1級取得 (精油の基礎知識を学び、美容と健康、ライフスタイル、アドバイスに役立てることができる) ・一般社団法人 日本エステティック協会 認定衛生管理者資格取得 (エステティックサロンにおける感染症の知識を理解し、適切な衛生、消毒ができる) ・エステ応用技術(リフレクソロジー、ヘッドマッサージ、肌別トリートメント)ができる								
授業計画	総授業	時間数 180時間	授業回数	42回	 】1回授業	45分	授業時間数		
	1	1 コース選択授業動機付け・アロマテラピー基本、精油の定義							
	2	アロマ呼吸法・プレマジ	ッサージ練習	7 =			5		
	3	きちんと知りたい精油の	のこと・応用	背中マッサ	ージ①		5		
	4	アロマテラピー精油の	プロフィール	/1・背中マ	ツサージ②		5		
	5	アロマテラピー精油の	プロフィール	/2			3		
	6	応用クレンジング・アロ	マテラピー	利用法			3		
	7	アロマテラピーと健康、	美容法•応	用マッサー	-ジ①		3		
	8	アロマテラピーに関係	する法律・歴	歴史1 模類	疑①応用マッ	サージ②	3		
	9	アロマ検定模擬②					3		
	10~11	カウンセリング、応用マ	ツサージ③)4)			10		
	12	応用マッサージテスト					3		
	13	東洋医学理論					3		
	14	午前:リフレクソロジー:	理論 午後	:リフレクソ	ロジー		5		
	15	午前:タラソテラピー理	!論 午後:リ	「フレクソロ	ジー		5		
	16	午前:脱毛理論 午後	:リフレクソロ	ュジーテス			3		
	17	脱毛実習					5		
	18	応用:ホワイニングトリー	ートメント				5		
	21~23	ヘッドマッサージ(1)②	・カウンセリン	ノグ①②③)		11		
	24~25	アロマ応用					10		
	26~27	衛生管理①②石こうパ	ペック				10		
	28~29	衛生管理③④					8		
	30	午前:衛生管理試験対	対策 午後:	衛生管理語	式験		5		
	31~34	ボディ応用下肢、ボデ	イ応用下肢	•背中、ボ	ディ応用通し	、ボディ応用テスト	18		
	35~37	卒業試験練習					13		
	38~39	ディスプレイ・ラッピンク	ブ				10		
	40~41	卒業試験練習					8		
	42~44	卒業試験模擬、卒業認	式験実技、	×業試験筆	記		13		
	合計時間数						180		
教科書		ピー検定公式テキスト・	-			編Ⅱ・衛生管理テキ	-スト		
時間外		ピー検定1級合格に向に	-		集を解く				
学習 ————		な実技習得に向けて、	-						
成績評価 方法		イント)、確認テスト(5ポイン	小)、授業態 原	ま(5ポイント))、課題評価(5	「ポイント)、評価テスト(8	30ポイント)		
		こより4段階評価とする							
担当詳細		務家 2. 教員	備考						
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	c.jp/						

学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	講義·演習·実技	講義時期	4月~1月				
授業科目	サロンワー	7 1 1	担当者	金城 梓	科目必修区分	必須				
授業概要 (目的)		学んだ美容技術を外部(専門学生、高校生)ヘレクチャーし、実践経験を積むスチューデントサロン(模擬店舗)を通して、基本的業務の流れ及び具体的業務内容、接客の技術を習得する								
到達目標	・サロン運営	・リクルートメイクの方法、ポイント、道具の使用法を教えることができる ・サロン運営に必要とされる一連の基本的業務ができる (サロンメニュー、フライヤー作成、SNS広告、予約管理、接客サービス)								
授業計画	総授業	時間数 90時間	授業回数	25回 1回授業	45分	授業時間数				
	1	サロンメニュー研究・追	運営に向けた	と基礎作り(サロン方針)		3				
	2	運営準備(メニュー決な	か・役割決め)・サロンフライヤー作成	文)	5				
	3	サロンメニュー練習・接	と客ロールフ	プレイング		5				
	4	サロン運営シミュレージ	ノョン①・振り	り返り		5				
	5	サロン運営シミュレージ	ノョン②・振り	0返り		5				
	6	サロンメニュー練習・接	と客ロールフ	プレイング		3				
	7	サロンメニュー練習・接	安客ロールフ	プレイング		5				
	8~9	美容科合同サロン①②	2)			12				
	10	合同サロン片付け・振	り返り			3				
	11~12	カウンセリング対策				2				
	13	カウンセリングシミュレ	ーション			3				
	14~15	運営準備(メニュー決)	か・役割決め)・サロンフライヤー作成	战·SNS運用)	4				
	16~21	サロンメニュー練習・接	安客ロールフ	プレイング・告知活動		22				
	22~23	サロン運営①②				10				
	24	サロン片付け・振り返り)			3				
	合計時間数					90				
教科書	特になし									
時間外 学習	サロンワーク実習に向けた実技復習のため、自宅学習を行う									
成績評価 方法	出席率(5ポ/	イント)、確認テスト(5ポイン	小)、授業態度	ぎ(5ポイント)、課題評価(5	ポイント)、評価テスト(8	80ポイント)				
75/198月 岡 77位	学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	1. 実	務家 2. 教員	備考							
実務経	験紹介	https://www.bmode.ac	<u>c.jp/</u>							

学科•学年	トータルビューティー科2年	授業方法	講義・演習	講義時期	1月
授業科目	観光概論	担当者	知念/金城	科目必修区分	必修
授業概要	接客業に携わることを想定し、沖	縄の文化や	歴史・観光地について	、グループワーク等を	を通し情報
(目的)	取集を行い知識を深める				
到達目標	沖縄の歴史や観光地について学	と習しコミュニ	ケーションツールとして	活用できる	
授業計画	総授業時間数 9 時間	授業回数	3回 1回授業	45分	授業時間数
	1 沖縄の歴史について	/沖縄の観	光スポットを知ろう(グル	/一プワーク)	3
	2 スポット箇所グループ	゚プレゼンテー	ーション		3
	3 首里城散策				3
	A Let-HDW/				
#/.4V =	合計時間数				9
教科書	特になし	#4 / .○ □ 12	ハ 1 ナ /h 中 1 マ 担 口 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
時間外 学習	学んだ内容についてのまとめ作	美(バリーホ <i>/</i>	イントを作成して提出)		
	 評価なし				
成績評価 方法	н I Imi. 20				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)	備考			
実務経		VII3 3			
	* *				

			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	412 4 124						
学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	講義	・演習	講義時期	4月~6月			
授業科目	志学Ⅱ		担当者		梓	科目必修区分	必修			
授業概要 (目的)	会人として	志高く生きた人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる 社会人に求められる能力(社会人基礎力)について理解し、その能力を元にロールモデルを探し論								
到達目標		と方、伝え方の手法を学				刀を几にロールモケ	アを抹し調			
授業計画	総授業	時間数 15時間	授業回数	5 回	1回授業	45分	授業時間数			
	1 ・学習の目標とねらい・学び方・夢や希望を整理する ・夢を志へ高める・志とは・志を立てる為に必要なこと									
	~第2章~ 感化力「志」高く生きた人に学ぶ ・吉田松蔭の行動・吉田松蔭の「志」の背景 ・吉田松蔭が大切にした言葉 ・考え方・生きる姿勢~吉田松蔭の力~ ・社会で求められる能力 ・人生のロールモデルの探し方									
	3	第3章~ 伝える力・考え方から生まれる・言葉は心・「伝える力」を高める・伝わる「伝え方」・「伝える」ために必要	方言葉」	ぎに変える力])を磨く(前半)	3			
	4	第4章~ 考える力・逆境を乗り越えるた・「考える力(思考力)・自己を把握する ~・自己を把握する ~・自己を把握する ~・「考える力」を高める	めに 」 -私の将来f -日常生活り 社会が認め	象〜 こおける時間	間の使い方	~	3			
	5	~第5章~ 私の「志」 ・仕事の世界は「夢」 ・私の「志」を立てる ・私の「志」を伝える		め立つ			3			
	合計時間数						15			
教科書	KBC学園	志学Ⅰ・Ⅱテキスト								
時間外 学習	自身の志を	と立てるにあたり"ロール	⁄モデル"を	探す						
成績評価 方法	出席率(20ポイント)、授業態度(50ポイント)、提出物・課題評価(30ポイント) 学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	1. 実	務家 2. 教員	備考							
実務経	験紹介									

14 111	1 /20		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	* 12 * 12 * 1					
学科•学年	トータルビュ	ューティー科2年	授業方法	講義·演習·実技	講義時期	6月~7月			
授業科目	卒業制作		担当者	金城 梓	科目必修区分	必須			
授業概要	学習成果0	学習成果の発表として、エステ・ネイル・メイクの技術を用いて、プロデュースする							
(目的)									
到達目標	・エステ・メができる	イク・ネイル、パーソナル	レカラーの矢	口識、技術を用いて、モ	デルをより美しく変	化させること			
	かくさる								
授業計画	総授業	時間数 87時間	授業回数	15 回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	卒業制作発表会 テー	-マ案			3			
	2	グループ発表・テーマ	決め、構成	考案・スケジュール		6			
	3	構成考案・スケジュー	ル、プラン組	しみ立て		6			
	4	構成考案・スケジュー	ル、プラン組	しみ立て		6			
	5	作品作成、プレゼン準	備			6			
	6	シミュレーション				6			
	7	合同通しシミュレーショ	ョン			6			
	8	合同通しシミュレーショ	ョン			6			
	9	合同通しシミュレーショ	ョン			6			
	10	合同通しシミュレーショ	ョン			6			
	11	リハーサル				6			
	12	リハーサル				6			
	13	リハーサル				6			
	14	会場リハーサル				6			
	15	卒業制作発表会				6			
	合計時間数					87			
教科書									
時間外									
学習 ————————————————————————————————————									
成績評価 方法	出席率(5ポ	イント)、確認テスト(5ポイン	小)、授業態度	E(5ポイント)、課題評価(5	ポイント)、評価テスト(80ポイント)			
学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	(.)	(. 実務家 2. 教員 備 考							
実務経	験紹介	https://www.bmode.a	<u>c.jp/</u>						
· ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·	·		·	·			

学科·学年	TB科2年		授業方法	実習	講義時期	7月~10月				
授業科目	セルフヘア	アレンジ	担当者	平良 みのり	科目必修区分					
(目的)	TPOに合え て、お客様	芯用へアアレンジテクニックを学び、卒業制作に向け、テーマに合わせた作品完成 「POに合わせたセルフへアアレンジを習得し自身のヘアメイク技術力を高める。美容施術者として、お客様に好感を与えられる身だしなみを学ぶ								
		最新のトレンドを取り入れたヘアアレンジや、オリジナルのヘアスタイルを考案・実現できる創造性を磨き、作品、TPO(就活・パーティ・日常)に合わせたセルフスタイリング技術ができる								
授業計画	総授業	時間数 15時間	授業回数	6回 1回授業	45分	授業時間数				
	1	卒業制作発表会制作	準備 ヘアア	アレンジ		3				
	2	卒業制作発表会制作	準備 ヘアア	アレンジ		3				
	3	応用ヘアアレンジ①就	活、サロンス	スタイル		3				
	4	応用ヘアアレンジ②ハ	ペーティスタイ	<i>`</i> ,\\		3				
	5	応用ヘアアレンジ③セ	ンルフヘアメイ	(ク作品制作・撮影		3				
	△ 乳吐眼粉					15				
教科書	合計時間数					15				
時間外学習										
成績評価 方法		イント)、確認テスト(5ポイン こより4段階評価とする	·ト)、授業態度	(5ポイント)、課題評価(5	ポイント)、評価テスト(8	0ポイント)				
担当詳細		送務家 (2. 教員)	備考							
実務経			ı v							
		l .								